

< 目標 > 「知の活用」と「物事の本質を見抜く力」の育成

1	今年度の達成目標	理工系、薬学系、家政系への大学進学を希望している生徒を対象に、センター入試・2次私大の一般入試問題に対応できるだけの学力基盤を養成することを目的とする。 校外模試において得点率7割以上を目標とする。	担当 教師
2	<p>物理基礎の指導の重点</p> <p><授業の指導の重点></p> <p>(1) 学習単位・・・・・・・・標準単位となる4単位で展開します。</p> <p>(2) 授業展開・・・・・・・・必要に応じて実験を行ない、基礎操作の修得や物質を探究する方法の理解を深める。</p> <p>(3) 参加型の授業・・・・・・・・課題発表や演習など主体的に学ぶ機会を一部取り入れます。</p> <p><観察・実験></p> <p>・・・・・・・・観察・実験を多く取り入れることで、目的意識をもって自然の事物・現象に進んでかかわります。</p> <p><学習の留意点></p> <p>・・・・・・・・化学基礎で学習した内容は今後の学習の基盤となるので、内容の理解と整理を行なうこと。</p> <p>授業後の復習、実験前には予習・復習をしっかりと行ない、疑問点を残さないこと。</p> <p>模試対策は過去問等を用い、演習解説を放課後講習等で行う。模試結果を踏まえ、課題等を課す。</p>		
3	指導教科書	化学（東京書籍）	
4	副教材	セミナー化学（第一学習社）フォトサイエンス化学図録（数研出版）	
5	評価・評定	<p>* 成績は、定期テスト・小テスト・授業中の取り組みなどを総合して評価します</p> <p>(1) 年間に4～5回実施される定期考査の成績。</p> <p>(2) 授業中に出された課題などの提出物の状況や内容。</p> <p>(3) 授業への出席状況。</p> <p>(4) 授業に積極的に取り組んでいるか等。</p> <p>(5) 校外模試の結果も参考にする。</p>	

《家庭へのお願い》

- (1) 「家庭学習」・・・宿題、予習、復習を必ず行わせてください。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノート、資料集を持参させてください。

理科科指導計画

	教科行事	単元	内容	達成目標(Can-Do)
4月		第3部 無機物質 第1章 非金属元素と周期表 1 周期表と元素の性質 2 水素と希ガス 3 ハロゲンとその化合物 4 酸素・硫黄とその化合物 5 窒素・リンとその化合物	・周期表と元素の性質を学んだあと、非金属元素の単体や化合物の性質を学ぶ。	○ 周期表から単体の性質について考えることができる。 ○ 非金属元素の単体や化合物の性質について考えることができる。 ○
5月	中間考査	6 炭素・ケイ素とその化合物 第2章 典型元素 1 アルカリ金属とその化合物 2 2族元素とその化合物 3 アルミニウム・亜鉛などとその化合物	・典型元素の単体や化合物について、その性質や用途について学ぶ。	○ 典型金属元素の単体や化合物について、性質や反応を周期表と関連づけて理解できる。
6月		第3章 遷移元素 1 遷移元素の特徴 2 金属イオンの分類と確認	・金属元素の多くが属する遷移元素の単体や化合物について、その性質や用途を学ぶ。	○ 遷移元素の単体と化合物の性質や反応について考えることができる。 ○ 金属陽イオンの特定の陰イオンとの反応や、分離と確認について考えることができる。
7月	期末考査	第4章 生活と無機物質 1 金属の利用 2 セラミックス	・無機物質の特徴と、無機物質が私たちの生活にどのように利用されているか学ぶ。	○ 無機物質がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを考えることができる。
8月	夏季講習 夏季合宿	夏休みの課題		○ 問題に対してどのようにアプローチしていくのかを学ぶ。
9月		第5部 高分子化合物 第1章 高分子化合物の分類と特徴 1 高分子化合物の分類と特徴	・生活や生命に関わる高分子化合物の基礎を学ぶ。	○ 高分子化合物の分類、合成及び特徴を考えることができる。
10月	中間考査(I)	第2章 合成高分子化合物 1 合成繊維 2 プラスチック 3 ゴム	・合成繊維やプラスチックなど、これらの物質の製法や構造、性質、用途などを学ぶ。	○ 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について考えることができる。 ○ ゴムの種類、構造、性質を考えることができる ○
11月		第3章 天然高分子化合物 1 糖類 2 タンパク質 3 核酸 4 繊維 第4章 生活と高分子化合物 1 衣料	・デンプンやセルロースなど、これらの天然高分子化合物とそれを構成している化合物の構造や性質について、化学的な面から学ぶ。	○ 糖の種類と構造、性質について考えることができる。 ○ タンパク質を構成する主なアミノ酸や構造、性質を考えることができる。また、タンパク質の高次構造や

				性質について考えることができる。
12月	中間考査 (Ⅱ)	2 高分子化合物の利用	・生活を豊かにした高分子化合物の構造や性質などについて学ぶ	○ 生活に欠かせない医療の材料である繊維の種類や特徴を考えることができる。
1月				
2月				
3月	期末考査			